福山メガソーラー順調
累計平均利用17・4％記録
中国電

再生可能エネルギーの導入機運がこれまでになく高まっている。昨年の東日本大震災に伴う電力不足問題がこれに拍車をかけた。節電・省エネの必要性が高まり、消費者の意識も変わりつつある。太陽光発電や風力発電などの新エネルギーの技術革新がどこまで進み、普及拡大するかはまだ不透明だ。実際、これら新エネルギーはおしなべて高コストで不安定な要素が多い。買い取り制度など政策的な後押しがなければ限界がある。それでも企業や自治体などの動きは活発だ。電力各社は全国でメガソーラー発電計画を進めており、地方自治体や企業などもスマートグリッド構想を進めている。これらが大きな市場になる可能性は高い。広島県内でもそんな動きが始まっている。

◁◀◁

中国電力が2011年12月、運転開始した福山太陽光発電所（福山メガソーラー、広島県福山市、出力3000キロワット＝3メガワット）が順調に稼働している。発電利用率は当初想定の14％を大きく上回る水準で推移。年間発電量見込みも3カ月残してほぼ達成した。再生可能エネルギー普及、拡大へ向けた取り組みの〝象徴〟としての役割を果たしている。

福山メガソーラーは、運開した12月に平均利用11・9％（月間合計発電量26万6470キロワット時）だったが、2月には同14・2％（同29万6850キロワット時）、4月には20％を超える利用率20・1％（同43万3360キロワット時）を記録した。

5月も引き続き20％の大台を確保、梅雨期の6月には同17・3％に落ちたものの、7月には20％に復帰、8月は同22・7％（同50万7170キロワット時）をたたき出した。年間発電電力量も見込みの約368万キロワット時を、8月末までの9カ月間で約94％までクリアしている。一般的なメガソーラーの利用率は12％程度といわれる中で、累計平均17・4％は特筆される。晴天小雨という瀬戸内海地方の立地条件にも恵まれた。

中国電は2020年までに1万キロワット程度のメガソーラーを建設する方針で、14年12月の運開で山口県宇部市に宇部メガソーラー発電所（出力3000キロワット）の建設を明らかにしている。3カ所目についても、自社所有地を中心に検討を進めている。

同社は再生可能な新エネルギーとして風力発電の導入拡大を進めるほか、低炭素社会を目指して未利用エネルギーの水力発電も見直している。河川維持流量を活用する発電所としては、1955年以来、57年ぶりとなる高野発電所（広島県庄原市、出力140キロワット）を12月に運開する。

ただ、メガソーラー、風力、水力は再生可能で低炭素という魅力はあるが、原子力や火力と比べ出力、発電量は3ケタも4ケタも違うのが実情。革新的なイノベーションがない限り、生活や経済活動で高負担を強いられる。低炭素社会の実現も遠のく。当面、安全性を第一に原子力、火力に依存せざるを得ないのではなかろうか。

中国電の福山太陽光発電所

福山太陽光発電所　発電実績

	発電電力量実績（kWh）	利用率（％）
11年12月	266,470	11.9
12年 1月	298,800	13.4
12年 2月	296,850	14.2
12年 3月	363,350	16.3
12年 4月	433,360	20.1
12年 5月	458,130	20.5
12年 6月	372,850	17.3
12年 7月	457,150	20.5
12年 8月	507,170	22.7
合計／平均	3,454,130	17.4

高機能GHPの引き合い増える
広島ガス

東日本大震災を契機に、省エネ、節電への関心が高まる中、消費電力の少ないガス機器が注目され、購買意識が変化している。

とくに、電力需要のおう盛な夏冬期は、空調（冷暖房）用途が大きな割合を占めるだけに、その傾向が高い。電力使用量の低減、ピークカットへの貢献とともに、電力負荷の平準化に寄与するガスヒートポンプエアコン（GHP）に、商業施設やテナントビルオーナー、病院、福祉施設関係からの引き合いが多くなっているという。

GHPの中でも、2011年4月からの市場投入となったビル用マルチエアコン「GHPエグゼア」は、別名「スマート&超高効率ヒートポンプ」といわれる。従来機に比べ、二酸化炭素（CO_2）排出量を約20％削減し、省エネ性（1次エネルギー消費量比較）も年間最大19％向上している。ビル用マルチエアコン史上最も進化した機器と称されている。

12年4月からは、停電時にも運転可能な「GHPエクセルプラス＝写真」の受注を開始した。同機はバッテリーを内蔵しており、停電時に、冷暖房とともに、あらかじめ使用者が選択した照明（最大0・7キロワット）を利用することができる。

震災以降、停電時にも空調や最低限の照明を継続して使用したいとの要望が、病院、老人福祉施設、賃貸オフィスを中心に急速に高まっていることもあり、ガス会社大手3社（東京、東邦、大阪）とメーカーが共同開発したものだ。

広島ガスは、最新のGHPを投入するとともに、営業活動を一層強化し、ガス空調の普及を目指す。

誘致、先端・成長分野に重点
広島県

2011年、中国地域の工場立地が件数ベースで5年ぶり、敷地面積で4年ぶりに前年比で増加した。しかも伸び率では全国でも最高だった。広島県は件数で前年比8・3％増の13件、敷地面積でも同216・5％増と高い伸びを示した。業種別では他県と同様、食料品が最も多いが、金属製品や輸送用機械器具といった業種の立地もあった。もとより広島県は陸海空の交通ネットワークが整備されるなど立地条件で優位にある。また企業活動を支える大学などの教育機関や公的研究機関が集積するなどのメリットもある。各地の産業団地を紹介するとともに、企業誘致活動についても紹介する。

原爆ドームと広島市街地

広島県は、企業集積の促進を図るための企業誘致活動を展開している。次世代を担う医療・健康関連、環境浄化分野などの先端・成長分野に重点を置き、クラスター形成を目指している。関西、首都圏の企業との人的ネットワークの拡充・強化図り、広島県内への投資を働きかける方針。

企業立地促進助成制度を拡充した。工場建物の新築を伴わない機械設備の更新なども対象にして助成する先端・成長産業集積助成に、これまでの環境・エネルギーに加え、医療・健康、環境浄化を追加した。また東日本大震災の被災企業などへの復興助成を1年間延長している。

2011年に策定したひろしま産業新成長ビジョンでは、医療関連産業クラスター、環境浄化産業クラスターの形成を目指すことにしている。医療関連クラスターでは20年の目標に、現在の約10倍の製品出荷額1000億円以上、約3倍の医療機器製造許可事業所100社以上を掲げている。県内企業の事業拡大、新規参入もあるが、県外からの企業誘致がカギを握っている。助成制度を整え、重点的に投資を呼びかける。

関西、首都圏で市町と連携して企業立地セミナーを開き、個別企業訪問、現地案内などに力を入れている。参加企業などとの人的ネットワークを構築し、企業情報の収集、県内投資に向けたビジネスチャンスの拡大を図っている。また広島大学が大阪で新技術説明会を開く機会を捉えて、関西・中部地域の企業を対象に「広島県・広島大学の医工連携説明会・情報交換会」を初めて開いた。県営産業団地を中心に立地環境、優遇制度などをPRし、誘致活動を強めていく。

産業集積を促進
津山直登広島県商工労働局長

津山氏

「新たな経済成長」のための産業集積の促進に向け、本年4月から企業立地助成制度を拡充し、助成対象業種に「医療・健康」および「環境浄化」を追加しました。

また、中小・中堅企業の事業高度化や新分野への展開などを目的とした設備投資や東日本大震災などの影響によるリスク分散の観点から県内に拠点を設ける企業への支援も行っております。

こうした支援制度を活用しながら、企業活動をあらゆる面からサポートしていきます。

広島県産業特集

Hiroden Heart
THANKS 100年 HIRODEN
人と環境にやさしい企業をめざす
安全で快適に暮らせる街を創造するため、
これからも、環境対策やバリアフリー化を推進します。
広島電鉄株式会社　〒730-8610　広島市中区東千田町二丁目9-29
〈電車テレホンセンター〉082-242-0022　〈バステレホンセンター〉082-221-0050
http://www.hiroden.co.jp/

最大の生産台数を誇る!!
河原のエコノミーリフトテーブルシリーズ
300kg～3t
K-2009　木郎ちゃん LIFTER　K-1008
株式会社 河原 KAWAHARA MFG. CO., LTD.
http://www.kawahara.com
カタログ・資料ご請求下さい。
特殊リフターの設計・製作致します。
■本社／〒722-0221 広島県尾道市長者原2丁目162-11 TEL(0848)48-2536㈹ FAX(0848)48-2543
■東京支店／〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-2-7(トーハン須田町ビル5F) TEL(03)3252-6207㈹ FAX(03)3252-6210
■大阪支店／〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-11-10(第3中島ビル9F) TEL(06)6309-5422㈹ FAX(06)6309-5478
■広島支店／〒722-0221 広島県尾道市長者原2丁目162-11 TEL(0848)48-2536㈹ FAX(0848)48-2543
■名古屋出張所／〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭1-12-11 TEL(052)671-0766㈹ FAX(052)671-0933
■テクノ事業部／〒722-0221 広島県尾道市長者原1丁目220-27 TEL(0848)48-6900㈹ FAX(0848)48-6901

ニュージーランドで、持続可能な森林経営を行っています。
植林　伐採　30年サイクル　育林　間伐
30年輪伐システムにより
豊かな環境を守りながら森を活用しています。
30年サイクルでニュージーパイン®を計画的に管理することで、木材を有効活用するとともに、環境保全にも役立っています。木材資源の安定供給を図りながら、万全な管理体制のもと、良質なニュージーパイン®をニュージーランドからお届けしています。
WOODONE 株式会社ウッドワン
〒738-8502 広島県廿日市市木材港南1-1 TEL 0829-32-3333(代) http://www.woodone.co.jp
ウッドワン 検索

自然環境や、資源を大切にする仕事を通じて、社会に貢献します
●環境装置　●金型他表面処理
●省エネルギー　●耐火材販売他
●工業炉
株式会社 三建アクセス SANKEN ACCESS CO.,LTD.
〒730-0053　広島市中区東千田町1-1-72
TEL(082)249-1139　FAX(082)248-2809
IP-PHONE 050-3531-1139
URL　http://www.sanken-access.co.jp
E-mail:info@sanken-access.co.jp

明日を創る力 サタケ
お米の力を人へ。
元気な人をつくる。
元気な日本をつくる。
願うのは真の長寿。
サタケはお米を通して、
「元気で長生き」できる社会を目指しています。
お米の素晴らしい機能を研究し、
GABA(ギャバ)を豊富に含むGABAライスを開発。
さらに、GABAの良さを世の中に広めるため
「おむすびのGABA」をオープン。
お米は美味しいだけでなく、エネルギー源となり、
栄養となり、健康の維持にも役立つ。
上手に食べることで、もっと日本人は元気になれる。
株式会社サタケ
［広島本社］広島県東広島市西条西本町2番30号 TEL.(082)420-0001
［東京本社］東京都千代田区外神田4丁目7番2号 TEL.(03)3253-3111
http://www.satake-japan.co.jp/
サタケは、お米で元気をつくる。
株式会社サタケは、マネジメントシステムの国際規格であるISO9001とISO14001の認証を取得しています。

クリーンのちグリーン。
パワフルな火力が魅力の「天然ガス」は、実はとても地球思い。
地球温暖化の原因となる二酸化炭素や大気汚染の原因となる窒素酸化物の排出量が少ないだけでなく、
酸性雨の原因となる硫黄酸化物を発生させないクリーンなエネルギーです。
地球がいつまでも美しい緑に包まれるように、
広島ガスは「天然ガス」を通して地球の環境を守るお手伝いを続けていきます。
■天然ガスのクリーン性 石炭を100とした場合の発生量比較(燃焼時)
石炭　石油　天然ガス
100　80　57　100　71　20～37　100　68　0
CO_2 二酸化炭素（地球温暖化の原因物質）　NO_x 窒素酸化物（大気汚染の原因物質）　SO_x 硫黄酸化物（大気汚染の原因物質）
資料：CO_2は「火力発電所大気影響評価技術実証調査報告書」(1990年3月)／(財)エネルギー総合工学研究所
NO_x、SO_xは「天然ガス－2010年の展望－」(1987年3月) OECD・IEA
広島ガス
http://www.hiroshima-gas.co.jp